

高等学校 令和8年度(3学年用) 教科

商業 科目 財務会計Ⅱ

教科: 商業

科目: 財務会計Ⅱ

単位数:

単位

対象学年組: 第 3 学年 1 組 ~ 5 組

教科担当者: (1~5組: 木口)

使用教科書: (財務会計Ⅱ 実教出版)

教科 商業

の目標:

- 【知識及び技能】商業の各分野について体系的・系統的に理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。
- 【思考力、判断力、表現力等】ビジネスに関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。
- 【学びに向かう力、人間性等】職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、ビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。

科目 財務会計Ⅱ

の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
財務会計について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。	企業会計に関する法規と基準及び会計処理の方法の妥当性と課題を見だし、創造的に課題に対応することで、会計的側面から企業及び企業の経営判断を分析する力を身に付けている。	会計責任を果たす力の向上を目指して自ら学び、国際的な会計基準を踏まえた適切な会計情報の提供と効果的な活用に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>A 第1編 財務会計の基本概念と会計基準</p> <p>【知識及び技能】 財務会計の基本概念と会計基準について、実務に即して体系的・系統的に理解し、関連する技術を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 企業会計に関する法規と基準及び会計処理の方法について、課題を見だし、創造的に課題に対応することで、企業の経営判断を分析する力を身に付けている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 財務会計の基本概念と会計基準について自ら学び、国際的な会計基準を踏まえた適切な会計情報の提供と効果的な活用に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。</p>	<p>○ガイダンス</p> <p>○第1章 財務会計の基本概念</p> <p>○第2章 資産負債アプローチと収益費用アプローチ</p> <p>○第3章 会計基準の国際的統合</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>○企業会計の意味と役割、株式会社制度の特徴や財務会計の機能について理解している。</p> <p>○資産負債アプローチと収益費用アプローチの意味を理解し、両者の違いにもなって計算される包括利益と純利益について、理解している。</p> <p>○会計基準の国際的統合の流れ、わが国の会計基準の特徴と国際会計基準への対応について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>○財務諸表の構成要素の認識と測定について思考し、説明することができる。</p> <p>○資産負債アプローチと収益費用アプローチについてその考え方の違いや包括利益や純利益のように利益計算に関する違いを整理し、説明することができる。</p> <p>○会計基準の国際的統合の流れがなぜ起きるのかについて思考し、説明することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>○自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。</p> <p>○プリント、ワーク等が適切に記入されている。</p>	○	○	○	10
<p>B 第2編 財務会計の実際</p> <p>【知識及び技能】 財務会計の資産会計・負債会計・純資産会計について、実務に即して体系的・系統的に理解し、関連する技術を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 財務会計の資産会計・負債会計・純資産会計について、課題を見だし、創造的に課題に対応することで、企業の経営判断を分析する力を身に付けている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 財務会計の資産会計・負債会計・純資産会計について自ら学び、国際的な会計基準を踏まえた適切な会計情報の提供と効果的な活用に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。</p>	<p>○第4章 資産会計</p> <p>○第5章 負債会計</p> <p>○第6章 純資産会計</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>○資産の評価基準、資産の評価方法、減損の会計処理についてを理解している。</p> <p>○負債の意味と評価、社債や退職給付引当金、資産除去債務に関する計算および記帳法を理解している。</p> <p>○純資産の意味と分類、新株予約権の意味と会計処理、分配可能額の計算や株主資本等変動計算書の作成について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>○資産の評価基準、資産の評価方法、減損の会計処理について思考し、説明することができる。</p> <p>○負債の意味と評価、社債や退職給付引当金、資産除去債務に関する計算や会計処理について思考し、説明することができる。</p> <p>○純資産の意味と分類、新株予約権の意味と会計処理、分配可能額の計算について思考し説明することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>○自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。</p> <p>○プリント、ワーク等が適切に記入されている。</p>	○	○	○	22
定期考査			○	○		1
<p>1 学期</p> <p>C 第2編 財務会計の実際</p> <p>【知識及び技能】 財務会計の損益会計・リース会計・税効果会計について、実務に即して体系的・系統的に理解し、関連する技術を身に付けている。</p>	<p>○第7章 損益会計</p> <p>○第8章 リース会計</p> <p>○第9章 税効果会計</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>○収益の認識について、会計基準の基本的な考え方やそれぞれの商品販売の形態とその会計処理について理解している。</p> <p>○固定資産を利用する方法のひとつであるリース取引の意味、ファイナンス・リース取引とオペレーティング・リース取引の会計処</p>				

<p>【思考力、判断力、表現力等】 財務会計の損益会計・リース会計・税効果会計について、課題を見いだし、創造的に課題に対応することで、企業の経営判断を分析する力を身に付けている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 財務会計の損益会計・リース会計・税効果会計について自ら学び、国際的な会計基準を踏まえた適切な会計情報の提供と効果的な活用主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。</p>		<p>理について理解している。 ○利益と課税所得の違い、税効果会計の目的と必要性、一時差異と繰延税金資産・負債の会計処理について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 ○収益の認識について、会計基準の基本的な考え方や商品販売の形態に応じたその会計処理について思考し、説明することができる。 ○リース取引の意味、ファイナンス・リース取引とオペレーティング・リース取引の会計処理について思考し、説明することができる。</p> <p>○利益と課税所得の違い、税効果会計の目的と必要性、一時差異と繰延税金資産・負債の会計処理について思考し、説明することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ○自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。 ○プリント、ワーク等が適切に記入されている。</p>	○	○	○	12
<p>D 第3編 企業活動の展開と財務会計</p> <p>【知識及び技能】 財務会計の外貨換算会計・キャッシュ・フロー計算書について、実務に即して体系的・系統的に理解し、関連する技術を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 財務会計の外貨換算会計・キャッシュ・フロー計算書について、課題を見いだし、創造的に課題に対応することで、企業の経営判断を分析する力を身に付けている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 財務会計の外貨換算会計・キャッシュ・フロー計算書について自ら学び、国際的な会計基準を踏まえた適切な会計情報の提供と効果的な活用主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。</p>	<p>○第10章 外貨換算会計 ○第11章 キャッシュ・フロー計算書</p>	<p>【知識・技能】 ○外貨建取引の意義、取引発生日・決済日・決算日の会計処理について理解している。 ○キャッシュ・フロー計算書の意義と必要性、キャッシュ・フロー計算書の表示区分や作成方法について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 ○外貨建取引の意義、取引発生日・決済日・決算日の会計処理について思考し、説明することができる。 ○キャッシュ・フロー計算書の意義と必要性について思考し、説明することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ○自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。 ○プリント、ワーク等が適切に記入されている。</p>	○	○	○	17
<p>定期考査</p>			○	○		1
<p>D 第4編 企業結合の会計</p> <p>【知識及び技能】 企業結合の会計について、実務に即して体系的・系統的に理解し、関連する技術を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 企業結合の会計について、課題を見いだし、創造的に課題に対応することで、企業の経営判断を分析する力を身に付けている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 企業結合の会計について自ら学び、国際的な会計基準を踏まえた適切な会計情報の提供と効果的な活用主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。</p>	<p>○第12章 企業結合会計 ○第13章 連結財務諸表の作成(その1) ○第14章 連結財務諸表の作成(その2) ○第15章 持分法 ○第16章 連結税効果会計</p>	<p>【知識・技能】 ○企業結合会計の意味とその形態や会計処理について理解している。 ○連結財務諸表を作成する目的と連結の範囲について理解している。 ○支配獲得日における連結貸借対照表の作成するための手続き及び支配獲得日後における連結財務諸表の作成手続きについて理解している。 ○持分に変動があった場合の連結財務諸表の作成や基本的な連結キャッシュ・フロー計算書の作成方法について理解している。 ○持分法の意義、適用対象、会計処理について理解している。 ○連結税効果会計の意義、評価差額、未実現損益、債権債務に係る税効果会計について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 ○企業結合会計の意味とその形態や会計処理について思考し、説明することができる。 ○支配獲得日における連結貸借対照表の作成するための手続き及び支配獲得日後における連結財務諸表の作成手続きについて思考し、説明することができる。 ○持分に変動があった場合の連結財務諸表の作成や基本的な連結キャッシュ・フロー計算書の作成方法について思考し、説明することができる。 ○持分法の意義、適用対象、会計処理について思考し、説明することができる。 ○連結税効果会計の意義、評価差額、未実現損益、債権債務に係る税効果会計について思考し、説明することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ○自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。 ○プリント、ワーク等が適切に記入されている。</p>	○	○	○	25
<p>D 第5編 財務諸表の活用</p> <p>【知識及び技能】 財務諸表の活用について、実務に即</p>	<p>○第17章 財務諸表の活用</p>	<p>【知識・技能】 ○企業グループの現状把握をするための有価証券報告書の見方、株価の判断材料、企業価値の評価など連結財務諸表の活用法について</p>				

	<p>して体系的・系統的に理解し、関連する技術を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 財務諸表の活用について、課題を見だし、創造的に課題に対応することで、企業の経営判断を分析する力を身に付けている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 財務諸表の活用について自ら学び、国際的な会計基準を踏まえた適切な会計情報の提供と効果的な活用主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。</p>	<p>理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 ○企業グループの現状把握をするための有価証券報告書の見方、株価の判断材料、企業価値の評価など連結財務諸表の活用法について思考し、説明することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ○自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。 ○プリント、ワーク等が適切に記入されている。</p>	○	○	○	8	
	定期考査		○	○		1	
3 学 期	D 第6編 監査と職業会計人	○第18章 監査と職業会計人	<p>【知識・技能】 ○監査のしくみや手続き、それを扱う職業会計人の職務や社会的役割について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 ○監査のしくみや手続き、それを扱う職業会計人の職務や社会的役割について思考し、説明することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ○自ら学び主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。 ○プリント、ワーク等が適切に記入されている。</p>	○	○	○	7
	定期考査		○	○		1	
						合計	105